

2026 年 10 月 19 日

各位

東京建物株式会社

京橋エリア最大級、再エネ由来電力で 17 万個の LED 電球が灯る 「2026 東京スクエアガーデン ウィンターイルミネーション」開催

11 月 5 日（木）～1 月 31 日（日）、ヘラルボニーとのコラボツリーも展示

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員 小澤 克人、以下「東京建物」）は、東京建物等が保有および管理する複合ビル「東京スクエアガーデン」（東京都中央区京橋、以下「本物件」）で、「2026 東京スクエアガーデン ウィンターイルミネーション」（以下「本イベント」）を 2026 年 11 月 5 日（木）から 2027 年 1 月 31 日（日）の期間で実施します。



ヘラルボニーコラボツリー（イメージ）

本イベントは約 17 万個の LED 電球を使った東京・京橋エリア最大級のイルミネーションです。ライトアップには 100%再エネ由来の電力が使用されるほか、LED 電球や装飾、クリスマスツリーは毎年デザインを変えながら、再利用を繰り返すことで環境負荷を低減したサステナブルなイベントを目指しています。初日である 2026 年 11 月 5 日（木）には、イルミネーションの点灯式・クリスマスコンサートの開催を予定しています。

2022 年からはアーティストとのコラボレーションによる「アーティストコラボツリー」を制作しています。記念すべき 5 回目となる本年のクリスマスツリー（以下「本ツリー」）では、障害のイメージ変容と福祉を起点に新たな文化の創出を目指すクリエイティブカンパニー・株式会社ヘラルボニー（以下「ヘラルボニー」）とのコラボレーションが実現しました。本ツリーは、ヘラルボニーの契約作家である時永 蒼生氏の作品「20210425」の世界観を表現することで、本物件地下 1 階から地上 5 階まで重層的に設けられた高さ約 31m、約 3,000m²におよぶ緑化空間「京橋の丘」との連動により、まるで“深い森”に入り込んだような体験を提供します。

● 開催概要

場所	東京スクエアガーデン（東京都中央区京橋 3-1-1）
アクセス	東京メトロ銀座線「京橋」駅直結、東京メトロ有楽町線「銀座一丁目」駅徒歩 2 分 都営地下鉄浅草線「宝町」駅徒歩 2 分 JR「東京」駅徒歩 6 分、JR「有楽町」駅徒歩 6 分
開催期間	2026 年 11 月 5 日（木）～2027 年 1 月 31 日（日） ※ クリスマスツリーの展示は 2026 年 12 月 25 日(金)まで
点灯時間	16:00～24:00
点灯式	2026 年 11 月 5 日（木）17:45～ イルミネーションの点灯式のほか、地域のコーラスグループによるクリスマスコンサートの実施を予定しています。 ※ 雨天の場合は内容が変更の可能性がございます。
施工	株式会社花門フラワーゲート
制作協力	株式会社ヘラルボニー、株式会社乃村工藝社
公式サイト	https://tokyo-sg.com/news/3963

● 展示内容

1. 京橋エリア最大級、約 17 万個の LED 電球によるイルミネーション

緑化空間「京橋の丘」や周辺の街路樹が約 17 万個の LED 電球でライトアップされます。イルミネーションに使用される LED 電球や装飾は再エネ由来の電力で点灯します。



2025 年開催時の様子（撮影：mao kokubu）

2. ヘラルボニーコラボツリー

デザインには、ヘラルボニーの契約作家である時永 蒼生氏の作品「20210425」を起用しています。本作品は、ヘラルボニーが主催する国際アートアワード「HERALBONY Art Prize 2026 Presented by 東京建物 | Brillia」にて「東京建物 | Brillia 賞」を受賞しています。

時永 蒼生氏は、7 歳の頃、絵画教室でキャンバスとアクリル絵の具に出会い、自宅で絵を描き始めました。直接手で混ぜた絵の具を撫で、拭き取り、指先で引っ掻くように描き進め、小さな身体で大きなキャンバスに向かい、何度も塗り重ねながら作品を完成させます。作品にみられる躍動的な物質感はその身体を使った動作によるもので、制作中は椅子や服にも描き始めるため、“創造的な副産物”が生まれ、家訓は「絵の具は汚れてはいけない」となっています。人の笑顔が何より好きで、悲しそうな人を見つけると笑顔で覗き込み、寄り添い、元気づけようとします。その温かな眼差しと優しさは作品の中に静かに滲んでいます。



《20210425》 (2021)



時永 蒼生

以上